

サイバーセキュリティ統合知的・人材育成基盤 (CYNEX) の 現状と課題

令和4年3月
サイバーセキュリティタスクフォース事務局

総務省におけるこれまでの取組（前回タスクフォース資料抜粋）

○CYNEXの構築

- NICTが有する技術・ノウハウや情報を中核として、我が国のサイバーセキュリティ情報の収集・分析とサイバーセキュリティ人材の育成における産学の結節点となる「サイバーセキュリティ統合知的・人材育成基盤」(CYNEX)を令和2年度3次補正予算及び3年度予算で構築し、2021年度内運用開始に向けて運用方針を検討。
- 研究開発の成果が民間企業等への技術移転によって広く普及し、社会実装が進むことを視野に入れながら、製品検証環境等の産学への開放を通じて国産機器の開発を促進する予定。
- 民間事業者や教育機関等における自立的な人材育成を促すため、演習の実施に必要な要素を総合的に提供する、オープン型の新たな人材育成プラットフォームを構築するとともに、産学官の連携によって当該プラットフォームを積極的に活用するためのコミュニティへの支援を実施。

前回タスクフォースでお寄せいただいた意見（抜粋）

- ✓ CYNEXで実現していくゴールについて、産学官でしっかり時間を取って議論できる場がほしい。（鵜飼構成員）
- ✓ セキュリティに係る情報は今のところ産学方面へスムーズに共有できていないが、共通のデータ基盤の創設により協創できる場を作っていきたいと思っている。ご要望があれば是非言っていたきたい。（徳田構成員）

CYNEXの構築

- 令和2年度3次補正予算及び3年度予算で構築している「サイバーセキュリティ統合知的・人材育成基盤」(CYNEX)が産学官の組織にとって利用したいと思える環境となるよう、早期の本格稼働に向けてシステム基盤構築・運営環境整備をいかに進めるべきか。